

98. 1. 1. (元旦). 雲

<Result>

Member : E. Shibata / S. Nakamura

Fishing Spot : Morozaki

○ コッパぐい x 2 ... E  
○ Xバブル x 2 ... E  
○ かわけま x 1 ... E

いったい誰が予想したであろうか。まさか、元旦の朝、初日の出を拝みながら釣りを**おはじめる**なんてことを。突然の思いつきで決めた今回の企画のハードさ故に、参加した Back Rusher は 柴田・中村の二人だけであった。早朝 5:30 の出発予定だったにもかかわらず、事あるに、中村は前夜「麻雀放浪記」を見過ぎ、3時間弱の睡眠時間で、このハードな企画を決行せざるを得なかった。一方、柴田は、年越しそばを食べ終えると、はやばやと床につま、万全の体制で朝をおかえた。二人は、5:40 に出発し、7:01 の日の出の時刻に間に合うように、師崎港入と一路向かった。

目的地、師崎港に到着すると、向もなく東の水平線が、まに紅潮しはじめた。防波堤の上で、我々と同じように初日の出を拝みにやってくるアツい人々の中には、感極まって自らの携帯に向かって今年の抱負を誓っている者もいた。一体、誰がどれを聞かされたのだろうか。どんなことを考えながら、刻々と上昇してゆく朝日を背に、とて朝日に向かって、柴田のシャッターを切り続ける音だけが周り一帯に響き渡った。我々は、コンソリトリーにサテスフッドした。今年一年が、我々全員にとって幸多からん年になることを祈りつつ、フィッシングギアを取りに車に向かう我々の背中に、朝日の輝きに心地良いほろりを感じた。

次の瞬間我々は、まおを握っていた。新年早々、我々に釣り上げられる幸運な魚は一体、どいつだ。といったかんじで、向もなく、柴田がまた連続して Xバブル (10cm) を 2匹 釣り上げた。水面下に雑魚の魚群が見えているのに、どいかなかなか釣れないという状況の中で、仕掛けの針を引くだけ等々の工夫をこらしたのが奏功したといえよう。試行錯誤の繰り返しの意味では、釣りも人生も相違なし。柴田は、その後も ~~釣~~ 釣で、良型のコッパぐいを 2匹、親指の体のような Lovely な かわけま 一匹も釣り上げ、坊頭の中村と明日香を分けた。坊主

以上をまとめると、まず、極寒の中、元旦の初日の出と釣りを同時に楽しむというこの上ないぜ、沢な企画を完璧になし遂げた事、それ自体が賞賛に値しよう。さらに、メンバーの安全と釣果を祈った我々の熱さに、他のメンバーも後継してくれれば、同輩いなく、98年も良い年にできるであろう。(p. 2)

今日の一句 コーナー

めおと

① 釣り初めし 元日の海に 夫婦ぐい。







15  
18  
20M  
219  
188  
172  
21  
24  
24

血抜きに興  
するS0氏

